

武庫川流域委員会

委員長 松本 誠 様

平成17年6月8日

委員 草薙芳弘

武庫川流域委員会の課題審議も中盤に入り、フローAの核心的な審議がなされ、第二ステップ要因項目フローBの検討にも取りかかるなど、運営推進にご尽力を戴き有難うございます。

そこでフローA・Bの検討課題において、以下の2項目の部門に関し調査が必要と考えますので、委員会でご検討をお願い致します。

1. 中継ポンプ場放水量

台風など異常大雨時、内水処理として武庫川下流域に設置されています下水処理施設の各中継ポンプ場から、武庫川へ放水されています。量的に明確にし、この水量が基本高水へ及ぼす影響の有無の確認が必要と考えます。ご検討下さい。

中継ポンプ場は通常時、武庫川下流域の一般家庭や工場からの下水を主体に、武庫川下流浄化センターへ送水処理がなされています。しかし、台風など豪雨時本施設（合流式方式）は、各中継ポンプ場区域の雨水が多量に混入するため、武庫川下流浄化センターへの送水処理能力不足から、その大半が武庫川へ放水されます。

過去の豪雨時の実績（武庫川への放出量）を加味し、流出解析の算定において検討が必要ではと考えます。

*特に算定基準となる甲武橋上流施設の、常松中継ポンプ場の放水量についてご検討ください。

・基準地点の甲武橋上流施設；西田川ポンプ場 常松中継ポンプ場

・基準地点の甲武橋下流施設；瓦木中継ポンプ場 南武中継ポンプ場 大庄中継ポンプ場

2. 武庫川流域現状と将来計画の調査（県・市の関係部署へ調査依頼）【まちづくりWG立案事項】

今回の「環境」「まちづくり」の課題や事例に関するアンケート調査と平行して、県・市の関係部署へ以下の関連事項について、調査依頼を必要と考えます。調査事項も含めご審議下さい。

①：武庫川の位置づけと役割を考える

現時点に於ける流域および沿川市域の、総合計画・都市計画マスタープラン、緑の基本計画、環境基本計画、中心市街地活性化基本計画、県総合計画、その他関連事業計画、構想など

②：武庫川総合治水を検討する中で

流域の現在の土地利用、および将来的土地利用の想定
一時雨水貯留施設、地下浸透施設、舗装、遊水地、 など

③：武庫川の川づくりを魅力と個性ある計画にするために

河川空間、流域の将来構想

主な公共施設分布、スポーツ・レクリエーション施設、文化財・歴史資源、ビスタポイント・景観資源、伝承地、散策・ハイキングルート、シンボリックな樹林・樹木、花壇、法規制適用状況、アクセス道路、沿川人口分布など

公共施設、企業、住宅を含む建築プロティ化

河川利用計画、構想

武庫川に関わる活動グループの状況

④：武庫川の利水状況

用途 取水量（月別） 取水方式

以上